



---

## ハイライト

- オンライン・アプリ・ストアのような体験で拡張機能を検索、インストール、更新
  - 拡張機能の作成と共有がさらに簡単に
  - 一般的な形式のファイルのインポートおよびエクスポートの機能と操作性を改善
  - SPSS Custom Tables モジュールの機能を強化
- 

# IBM SPSS Statistics : 新機能

データ分析を加速し、最適化し、簡単に  
する、新しい機能と強化された機能

組織が目標を達成する上で、アナリティクスが果たす役割は重要性を増す一方です。IBM® SPSS® Statistics ファミリーには、エンドツーエンドのアナリティクスに必要な主要ケイパビリティを提供します。先進的なテクニックのほとんどをアナリストやビジネス・ユーザーが広く利用できるように、IBM SPSS Statistics Base と、多くの専用モジュールについて、その機能とケイパビリティが強化されました。

IBM SPSS Statistics 24 では、プログラミング拡張機能へのアクセスを改善し、よりスマートなデータ管理と生産性の向上を通じて、高度なアナリティクスを提供します。このリリースでは、以下の機能を通じ、ソフトウェアの分析ケイパビリティが強化されています。

- **SPSS Statistics 拡張機能**：オンライン・アプリ・ストアのような体験で、拡張機能を検索、インストール、更新
- **スマートなデータ管理**：一般的な形式のファイルのインポートおよびエクスポートの機能と操作性を改善
- **生産性の向上**：SPSS Custom Tables モジュールの機能を強化し、変数ビューを再設計

SPSS Statistics ソフトウェアのセットには、Standard、Professional、Premium の3つのエディションがあります。これらのエディションでは、基本的な機能と機能がグループ化されており、効果的な意思決定に欠かせない洞察を生み出すために必要なケイパビリティを的確に確保できます。



## SPSS Statistics 拡張機能

SPSS Statistics 24 では、Statistics 拡張ハブと拡張機能のためのカスタム・ダイアログ・ビルダーによって、オープン・ソースとサード・パーティのプログラミング拡張機能に新しい方法でアクセスし、それを利用できます。

### SPSS Statistics 拡張ハブ

拡張ハブは、拡張モジュールを管理するための新規インターフェースで、アプリ・ストアのように以下の操作が可能です。

- SPSS、Python、または R シンタックスによるフリーの拡張モジュールを簡単に参照、ダウンロード、更新
- 新しい拡張モジュールを簡単に見つけ、ダウンロード
- 既存の拡張モジュールのアップデート
- インストール済みの拡張モジュールの削除
- インストール済みの拡張モジュールのプロパティを参照

### 拡張機能のための SPSS Statistics カスタム・ダイアログ・ビルダー

ユーザーのカスタマイズへのニーズにあわせて、R や Python、SPSS シンタックスによる拡張機能の作成と共有が容易になります。

- 改善されたインターフェースで、拡張機能の作成が迅速に
- 拡張機能の共有も簡単（ダブルクリックでインストール）
- 新しいコントロール・オプションを追加し、既存のコントロール機能に新しいプロパティを追加
- ダイアログのメニュー位置について新しいオプションを選択可能

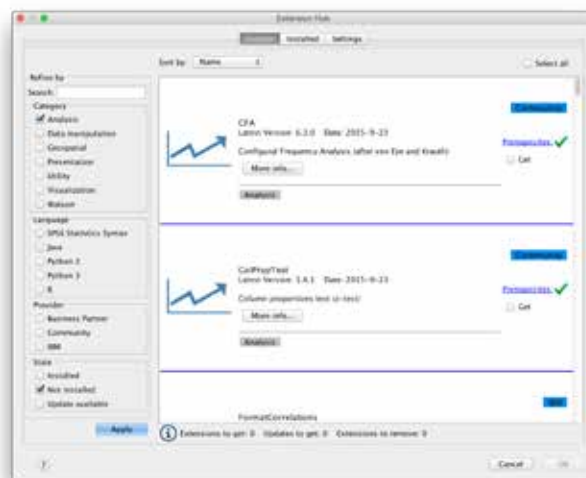


図1：拡張ハブのイメージ

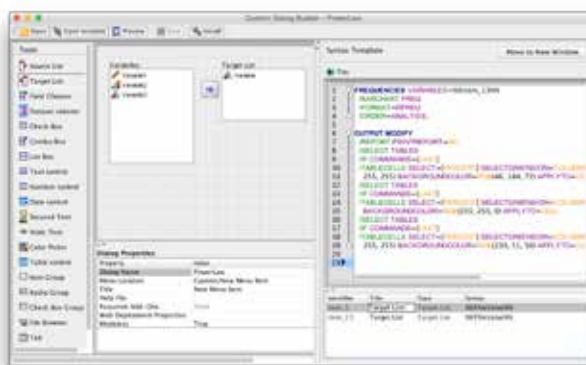


図2：カスタム・ダイアログ・ビルダー

## スマートなデータ管理

SPSS Statistics 24 では、最も一般的な形式のファイルをインポートあるいはエクスポートする際の操作性を改善し、変数タイプの計算精度を向上させています。次のような特徴があります。

- Microsoft Excel と CSV に関する機能性を改善し、ファイルのインポートおよびエクスポートが迅速に
- インポートするデータのなかで、同じ形式に準拠する値の割合に基づいて列のデータ型を決定
- Microsoft Excel で非表示の行および列を読み込みの対象外に
- 文字列の値から先行スペースと末尾スペースを削除
- Microsoft Excel データ・ファイルへの書き込み時にシート名を指定可
- 名前付きシートを既存の Microsoft Excel ワークブックに追加
- 変数名のかわりに変数ラベルをカラム名として Microsoft Excel ファイルに書き込み
- データ型の自動検出や日付データの読み込み処理の向上などで、テキスト・データ・ファイルの読み込みがさらに柔軟に
- 値ラベルをデータベースにエクスポート

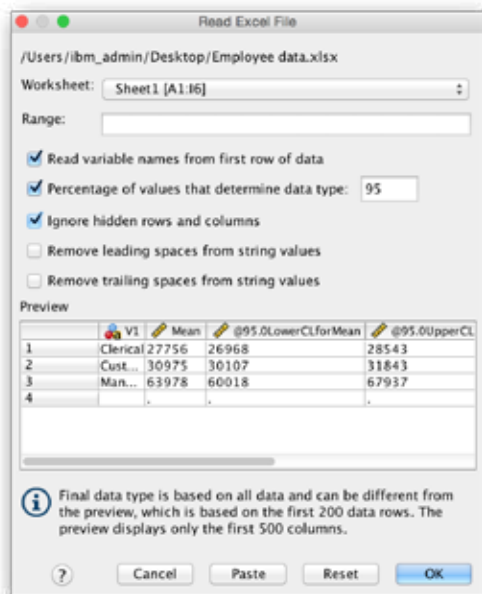


図 3 : Microsoft Excel ファイルのインポート

## SPSS Custom Tables の機能強化

SPSS Statistics 24 では、SPSS Custom Tables モジュールに次のような革新的な機能が追加されました。

- サンプルサイズの調整ウェイトを、有効ベースの重みとして利用
- 標準誤差と信頼区間の表示
- 有意検定の結果をメインのテーブルに組み込む機能
- 列の平均値および列比率における有意水準指標の表示
- 多重比較におけるFDR (False Discovery Rate) 調整方法の追加

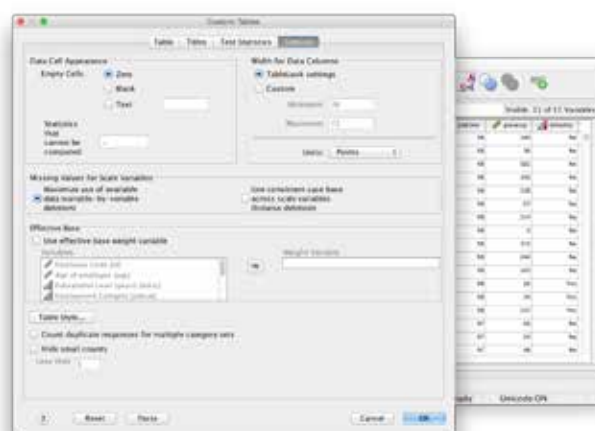


図 4 : カスタム・テーブル機能

そのほか、V24 では次の点も強化されています。

- 拡張モジュールとフォーラムに関する新しいコミュニティがスタート
- 新しい「ようこそ」画面では、コミュニティとライセンス・マネージャーにリンク
- クライアント・マシンでマルチスレッド処理が可能
- 新しいテーブルルック表示
- 「保存状態に戻す (Revert to Saved)」機能
- Python 3 をサポート
- Statistics Base モジュールに NAIVE BAYES と SELECT PREDICTORS を追加 (以前はサーバー専用の機能)
- 新しい日付フォーマット
- 先行ゼロの表示機能
- データ・エディターの変数アイコンの変更
- 変数ビューを刷新



図 5 : IBM SPSS Statistics

## SPSS Statistics ソフトウェアをアップグレードすべき理由

以前のバージョンの IBM SPSS Statistics をお使いの場合には、最新バージョンにアップグレードすることで、上記のような機能を利用し、時間を大幅に節約できるなどのメリットを得られます。

## SPSS Statistics 23 で追加された機能

### アルゴリズムの刷新

- 時間的因果モデリング (TCM) を使用して多数の時系列間の隠れた因果関係を解明

### 地理空間分析

- 空間的時局的予測 (STP) を使用して時間と空間にまたがる傾向を検出
- 地理空間アソシエーション (GSAR) を使用して地理空間属性を取り入れた相関ルールを作成

### 生産性の向上

- ノンパラメトリック・ブートストラッピング、ケースのクラスター化、収束を向上させるための新しい回転オプションによって、カテゴリカル主成分分析機能を改良
- 統合 R 開発環境の機能を利用してプログラムをテストできる機能を追加し、R のプログラム性能を強化
- Web サーバー・サポートの対話性と機能性を強化した次世代型の Web 出力
- 新しいバージョンの Stata ファイルのインポート、読み取り、書き込みが可能な機能でアクセス性を改善
- データベースへのバルク・インポート/挿入でパフォーマンスを高速化
- バッジ・リーダーによる認証をサポート

### IBM SPSS Statistics 22 で追加された機能

- スマート・デバイスでのインタラクティブな出力
- すぐプレゼンテーションに使用できる出力
- 文字列のシミュレーション、自動線形モデリング、ヒート・マップをサポートする、モンテカルロ・シミュレーションの機能を強化
- IBM® Cognos® TM1 と統合
- SPSS Statistics サーバーと SQL プッシュバックを使用して、パフォーマンスとスケーラビリティを改善
- Python プラグインがメイン・インストールの一部に
- 拡張機能内から、使用可能なプログラミング拡張機能を検索、ダウンロード、インストール
- 簡略化された方式を用いて、SPSS Amos でユーザー定義の estimand を指定
- プラットフォーム標準でエンタープライズ標準のロギング・サポートを改善
- I/O の .dll を使用して、暗号化された Statistics データ・ファイルを他のアプリケーションで読み取り/書き込み可能
- ノンパラメトリック・プロシージャー向けのピボット・テーブル出力を生成

### IBM SPSS Statistics 21 で追加された機能

- 不確実な入力に対してより良いモデルの構築をするためのモンテカルロ・シミュレーション
- 2つのデータ・ファイルまたはデータ・セットを比較し、データ値とレコードの互換性を確認する機能
- 機密情報を他人に見られないようにするための、データおよび出力ファイルのパスワード保護（暗号化）
- ファイルのマージを改善、高速化
- ナビゲーション操作やソート操作を簡単にするなど、機能を強化したピボット・テーブルの拡張
- 構造方程式モデリング (SEM) に対応する IBM SPSS Statistics Amos でモデル指定が容易に
- Java プラグインを使用した SPSS Statistics でのプログラミング

- IBM Cognos Business Intelligence のデータを SPSS Statistics にインポートして、さらに分析が可能
- Microsoft Excel 2007/2010 に出力をエクスポート
- IBM SPSS Collaboration and Deployment Services でのロード・バランシングでスケーラビリティとパフォーマンスが向上
- SPSS Statistics クライアントとサーバーの間のシングル・サインオン
- セキュリティー制限のある環境で、SPSS Statistics サーバーを UNIX/LINUX の非 root ユーザーとして実行するオプション
- データ・ファイルの圧縮でストレージ・スペースを拡張
- 古いサーバーで新しいクライアントをサポートするバージョン互換性、またはその逆のバージョン互換性（たとえば V21 のクライアントと V20 のサーバー、または V20 のクライアントと V21 のサーバー）

### IBM SPSS Statistics 20 で追加された機能

- 事前作成済みのマップ・テンプレートと、SPSS Statistics Base での ESRI ファイルのサポート
- ピボット・テーブルの出力を高速化
- IBM SPSS Advanced Statistics の GLMM プロシージャーを序数値で実行可能
- 非グラフィカルでプログラムの SPSS Amos のモデル指定方式
- SPSS Statistics クライアントをネットワークから切断して、SPSS Statistics Server ジョブをオフラインで実行
- SPSS Statistics Server での並び替えプロシージャーによって作成される一時ファイルを圧縮して、大規模ファイルの並び替え時のディスク・スペースを節約

### IBM SPSS Statistics 19 で追加された機能

- 自動線形モデリング (ALM) で、強力な線形モデルを自動的に作成して数値上の結果を予測するツールを、専門家でないユーザーにも提供
- SPSS Advanced Statistics の一般化線形混合モデル (GLMM) を使用して、階層型/ネスト型データや反復測定を含むデータに基づいて非線形の結果を予測する高精度のモデルを作成
- IBM SPSS Direct Marketing で新しいケイパビリティを複数追加
- SPSS Statistics Base でテーブルの実行を高速化
- SPSS Statistics ファミリーの全製品で使用できるシンタックス・エディターでパフォーマンスと使いやすさを向上させる数多くの機能拡張
- 統計ポータルで、分析へのインタラクティブなオンライン・アクセスを社内外のユーザーに提供 (SPSS Statistics Server および SPSS Collaboration and Deployment Services が必要)
- SPSS Statistics Server の機能であるコンパイル済み変換により、多数のデータ変換を実行する SPSS Statistics プログラムのパフォーマンスを改善
- アナリストは、SPSS Statistics Base を使用して、顧客データのスコアリング、事前作成済みのモデルの利用、Salesforce.com のデータへの直接接続が可能
- SPSS Statistics Base と IBM SPSS Custom Tables で、列およびクロス集計をピボット処理
- IBM SPSS Exact Tests で、Linux および Mac オペレーティング・システム上の小規模かつまばらなデータ・セットを処理

- IBM® System z® 上で SPSS Statistics Base Server を実行 (SuSE Linux が必要)

### IBM SPSS Statistics 18 で追加された機能

- 新しい自動データ準備機能を使用して、1 回のステップでデータを準備
- SPSS Statistics Base での新しいノンパラメトリック検定
- SPSS Custom Tables でのカテゴリーの事後計算
- SPSS Direct Marketing モジュール
- SPSS Bootstrapping モジュール
- 二次 SPC チャートで規則チェック
- IBM SPSS Statistics Developer
- SPSS Custom Tables のメイン結果テーブルで有意検定を表示する機能
- Two Step クラスター分析のインタラクティブなモデル・ビューアと自動データ準備プロシージャ
- 大規模なピボット・テーブルの表示を改善
- SPSS Statistics Base Server で、度数、記述統計、クロス集計のプロシージャのパフォーマンスが向上
- Windows および Mac のデスクトップ 64 ビット・ハードウェアをサポート
- Mac OS X 10.6 で Snow Leopard をサポート

### 詳細情報

IBM SPSS Statistics の詳細については、日本 IBM の営業担当または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

[ibm.com/software/jp/analytics/spss/](http://ibm.com/software/jp/analytics/spss/)

## IBM Analytics について

IBM Analytics ソフトウェアがもたらすデータに基づく洞察は、組織をよりスマートに運営し、競合よりも優位に立つ上で有用なものとなります。このソフトウェアの包括的ポートフォリオには、ビジネス・インテリジェンス、予測アナリティクス、意思決定管理、パフォーマンス管理、リスク管理のソリューションが含まれています。

IBM Analytics ソリューションをご利用いただくことで、業績に大きく影響し得る顧客分析などの領域において、傾向とパターンを識別し、視覚化することが可能になります。これらのソリューションでは、シナリオを比較し、潜在的な脅威およびチャンスを予想し、リソースのプランニング、予算編成、予測を改善し、予想される成果とリスクのバランスを維持し、規制要件への対応を図ることができます。アナリティクスが広範にわたって利用可能となることで、ビジネス目標の達成に向けた短期および長期の意思決定に整合性を持たせることができます。詳細については、[ibm.com/analytics/jp/ja/](http://ibm.com/analytics/jp/ja/) をご覧ください。

## 電話連絡のご依頼

電話連絡のご依頼やお問い合わせの際は、<http://ibm.biz/Bd4pYn> をご利用ください。



---

© Copyright IBM Corporation 2016

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Printed in Japan  
2016年5月発行

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、SPSS、Cognos および System z は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標とロゴは、Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」で提供され、明示的にも黙示的にも、商品性の保証、特定目的への適合性の明示的保証、違反行為がないことを含むいかなる保証を行うものでもありません。IBM 製品に対しては、当該製品が準拠する契約書の契約条件に基づいて保証されます。



Please Recycle